

令和4年度大河原教育事務所管内

社会教育関係職員等研修会

9月16日（金）、大河原合同庁舎を会場に、社会教育関係職員等研修会を開催しました。この研修会の趣旨は、社会教育に関する専門知識の習得や事業推進の心得と、技能等の養成をとおして公民館等施設職員・社会教育関係職員としての資質の向上を図ることです。

講話では、白石市斎川公民館 館長 畑中多賀男氏、斎川まちづくり協議会 事務局長 佐藤幸枝氏から、「公民館を核とした斎川の地域づくり」と題してお話いただきました。令和元年度第72回優良公民館表彰において、東北初の「最優秀公民館」に選ばれた斎川公民館での取組について、様々な事例を基に御紹介いただきました。後半のグループワークでは、参加者同士が日頃の業務を振り返り、よりよい事業展開の実現を目指した熱心な情報交換を行いました。



(左) 斎川まちづくり協議会 事務局長 佐藤 幸枝 氏
(右) 白石市斎川公民館 館長 畑中 多賀男 氏



【参加者の声】

- 住民主体の公民館事業を実施していくのはとても大変だと感じていましたが、身近に成功している地域があることを知り、参考にしたいと感じました。
- 似た境遇の方とのグループワークだったので共感できることも多く、とても楽しかったです。
- 他の市町の事例や悩みを共有できて大変参考になりました。

○斎川公民館の取組は、今後の少子高齢化の地域のコミュニティづくりや若者参画の先進的な事例で素晴らしく、参考にしていければと思います。

○久しぶりの研修会でいろいろな角度から話が聞けて、話せて、とても有意義な時間を過ごすことができました。ありがとうございました。

○同じ悩みがある方が多数で、共感することができました。どの地域も同じ悩みを持って来られたのだと思い、これからどうしたら良いか、時間をかけて話せれば良かったな、と思いました。

○若者の意見を反映して、若者が主体となる活動を行うことによって、高齢化が少しでも止められるのではないかと感じました。

○初めて参加させていただきました。貴重なお話を聞けて、とても勉強になりました。他の地区の皆さんのお話が参考になりました。

○他地区の方々との意見交換ができ、同じ悩みごとがあり、笑って話せたことは、有意義でした。

